

# 平成28年度に取り組んだ主な事業

## 都市環境分野・・・

- ◆都市と自然が織りなす住みよいまちづくり
  - ◆地域住民・地元企業・商店街などと意見交換し、今後のまちづくりの方向性を示す「まちなかマネジメント構想」を策定。
  - ◆公共施設連絡バスロケーションシステムにより、バスの運行情報を迅速に発信する環境を整備。



バスの走行位置などをリアルタイムで

## 産業振興分野・・・

- ◆人と技術で賑わいを創り笑顔で働き続けられるまちづくり
  - ◆市が企業OBを中小企業コンシェルジュとして雇用し、市内企業が抱える課題調査と課題解決に向けた支援方法を確立。
  - ◆衣浦定住自立圏域の観光情報を集約した「るるぶきぬうら」を作成し、圏域の観光情報を広くPR。



刈谷市のほか  
知立市  
高浜市  
東浦町の  
魅力が満載！

## 計画推進分野・・・

- ◆市民と行政の信頼と協働で築くまちづくり
  - ◆刈谷市に関心を持っていただいたふるさと納税者へ特産品等の返礼品の進呈を開始し、本市の魅力を発信。
  - ◆マイナンバーカードを利用してコンビニで住民票などの証明書を取得することにより、市民の利便性が向上。



より身近で便利に証明書を取得

## 教育文化分野・・・

- ◆生きる力を育み生きる喜びを実感できるまちづくり
  - ◆老朽化した校舎を大規模に改修し、校舎の機能回復と児童の教育環境を改善（日高小学校・小垣江小学校）。
  - ◆放課後子ども教室を開設し、学校・家庭・地域の連携により子どもたちが心豊かで健やかに育つ環境づくりを推進。



放課後の安心・安全な居場所づくりを

## 福祉安全分野・・・

- ◆支えあみんなが元気で安心して暮らせるまちづくり
  - ◆妊娠期から子育て期にわたる様々なニーズに対し、安心して子育てができる切れ目のない総合的な相談支援を実施。
  - ◆住宅用自動消火設備の設置費用を助成することにより、設置を促し、重度障害者や寝たきり高齢者の安全を確保。



住宅用自動消火設備で安全を確保

- ◆老朽化した富士松北保育園を改築し、保育環境の改善や定員を増やして待機児童対策を推進。
- ◆かりや健康マイレージチャレンジシートを作成し、若い世代からの健康意識の向上や自主的な健康づくりを応援。



楽しく健康づくりを（チャレンジシート）

# 9月 主な議案 定例会

今回は、平成28年度決算の認定と刈谷市南部福祉センター条例の一部改正についてなどです。  
質疑については、主なものを中心に、要約して掲載します。

## 平成28年度決算を認定 一般会計で歳入が歳出を70億円上回る

決算審査特別委員会  
審査のあらし  
本会議での説明後、全議員で構成する決算審査特別委員会を設置しました。  
さらに、企画総務、福祉産業、建設、市民文教の4分科会を設置しました。分科会では代表監査委員の出席のもと、審査が行われました。  
26日の決算審査特別委員会では、分科会での審査結果を踏まえ、採決を行いました。

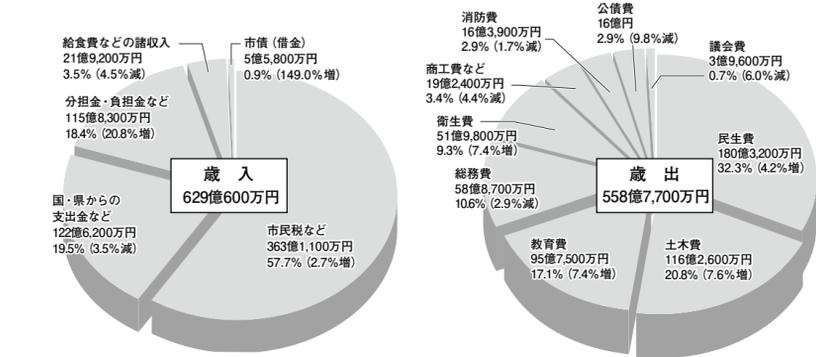
## 主な質疑項目

- 企画総務分科会  
シテイセールの調査研究の概要、職員の健康診断の受診状況、ふるさと納税の評価、街頭防犯カメラの設置状況、防災ラジオの販売促進、ビデオ広報かりやの周知状況  
■福祉産業分科会  
環境支援員育成事業の概要、県営防災ダム事業の今後の予定がんと検診の受診率低下の理由、げんき応援事業利用実績、人間ドック及び脳ドックの費用助成の概要  
■建設分科会  
市道01-3号線他道路新設改良事業の概要、都市交通施設整備基金の意義、公園管理システムの導入効果、空家等実態把握調査の概要、橋りょう長寿命化整備事業の概要  
■市民文教分科会  
スクールガードリーダーの効果、チビッコ甲冑製作事業の概要、東吉野村文化交流事業の概要、子ども相談センターへの主な相談内容、総合文化センターの利用者満足度



代表監査委員による意見陳述

## 一般会計の内訳 (前決算年度対比)



〈国・県からの支出金などの内訳〉 国庫支出金、県支出金、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金 (分担金・負担金などの内訳) 分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金

〈商工費などの内訳〉 商工費、農林水産業費、労働費、災害復旧費、諸文支出金、予備費 (注) それぞれの数字は四捨五入してそろえたため、総額や割合に一致していない場合があります。

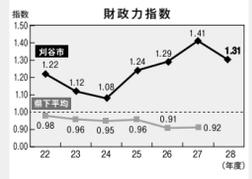
## 各会計別の決算額

会計名	歳入 (前決算年度対比)	歳出 (前決算年度対比)	形式収支 (歳入歳出差引額)
一般会計	629億700万円 (+4.6%)	558億700万円 (+3.8%)	70億2,900万円
特別会計	291億8,800万円 (▲1.8%)	261億万円 (▲2.3%)	30億8,800万円
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業	4億1,600万円 (+14.1%)	2億8,900万円 (+33.9%)	1億2,700万円
刈谷野田北部土地区画整理事業	2億1,600万円 (+35.3%)	2,900万円 (+43.2%)	1億8,700万円
下水道事業	54億7,800万円 (▲14.3%)	44億8,500万円 (▲15.6%)	9億9,300万円
国民健康保険	140億7,400万円 (▲1.5%)	126億8,700万円 (▲1.9%)	13億8,700万円
後期高齢者医療	15億5,100万円 (+8.7%)	15億4,500万円 (+8.6%)	600万円
介護保険	74億5,300万円 (+5.1%)	70億6,500万円 (+3.8%)	3億8,800万円

会計名	収入 (前決算年度対比)	支出 (前決算年度対比)
水道事業会計	29億500万円 (+0.8%)	25億5,300万円 (▲1.8%)
収益的	29億500万円 (+0.8%)	25億5,300万円 (▲1.8%)
資本的	5億700万円 (+8.6%)	12億7,400万円 (+9.8%)

## 監査委員の意見(要旨)

Ⅱ一般会計・特別会計Ⅱ  
平成28年度の財政状況を財政指標でみると、財政力指数は0.10ポイント低下し、1.31、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は1.0ポイント低下し、74.8%、実質公債費比率は0.8ポイント低下し、△1.5%となっている。この3つの指標は、財政運営上において、いずれも良好な水準にあると認められる。  
今後の財政状況において、歳入については、消費税率の引き上げの再延長に伴い、法人市民税の一部国税化の割合が拡大されなかったものの、円高の影響により、企業業績の悪化が懸念され、歳入の根幹をなす市税収入は減少することが考えられる。さらに、イギリスのEU離脱による自動車関連産業への影響、また、今後の法人実効税率の引き下げ等も懸念されることである。  
このように、歳入においては、不透明な要因がある中、歳出においては、市民の安心、安全に関する経費、次代を担う子どもの教育に関する経費、住環境、都市基盤整備に関する経費など、よりよいまちづくりに不可欠な経費が増加している。そのため、事業の予算化及び実施に当たっては、情報収集、分析能力を高め、事業の必要性を十分に検討した上で、計画的、効率的かつ効果的な行政経営に努め、今後も健全財政を維持していただきたい。  
多くの自治体では、人口減少が顕著になりつつある中、本市においては、平成28年7月に総人口が15万人に達し、その後も増加傾向で推移している。今後も「若い世代が生産性の高い居住地として選択し、将来に明るい希望を抱くことができるまち」の実現に向けて、刈谷市の魅力を効果的に発信し、人を呼び込む個性豊かで魅力のな施設・サービスの展開に努めていただきたい。このまちに住みたい、住み続けたい、住んで良かったと感じていただき、市民の皆さんが「元気で幸せ」を実感できるまちを目指し、将来都市権である「人が輝く安心快適な産業文化都市」の実現に向けて自立性を充分に発揮し、本市がより一層発展することを期待する。  
Ⅲ水道事業会計Ⅲ  
平成28年度の純利益は2億8,490万5千円であり、これまでの企業活動によって蓄積された利益剰余金は21億5,672万円となった。貸借対照表から主要な経営指標をみると、資本構成比率のうち財務状態の安全性を示す自己資本構成比率は88.0%で引き続き良好な水準にある。また、短期債務に対する支払能力を示す流動比率は、52.68%で、理想比率とされる200%以上であり、固定資産が自己資本によりどの程度まかなわれているかをみる固定比率についても、86.9%と、望ましいとされる100%以下である。この3つの指標は、良好に推移しており、健全経営が確保されていることを示している。  
災害対策の重要性も一段と増している中で、基幹管路の耐震化などの早期推進も切望されており、今後は、施設等の維持管理に係る経費の増大が見込まれる。一方で節水型社会の進展に伴い、料金収入について大幅な増加は見込めないことから、事業運営において、さらなる効率性が求められる。  
市民生活を支える重要なライフラインのひとつである水道事業において、引き続き健全な経営の維持に努められ、安心して安全なおいしい水が将来にわたり安定して供給されることを望む。



※財政力指数 自治体の財政の強弱を測る方法 "1"を超えるほど財政が健全である

## 議決結果一覧表

- 【工事請負契約の額を変更する専決処分について】 賛否が分かれたもの
- 【公平委員会委員の選任について】 了承
- 【公平委員会委員の選任について】 同意
- 【固定資産評価審査委員会委員の選任について】 同意
- 【教育委員会委員の選任について】 同意
- 【福祉産業委員会関係・1議案】 可決
- 【刈谷市生涯学習センター1条例の一部改正について】 可決
- 【建設委員会関係・3議案】 すべて可決
- 【指定管理者の指定について(岩ヶ池公園)】 すべて可決
- 【西三河都市計画事業刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業施行条例の一部改正について】 すべて可決
- 【西三河都市計画事業刈谷半城土高須土地区画整理事業施行条例の一部改正について】 すべて可決
- 【市市民文教委員会関係・1議案】 可決
- 【刈谷市生涯学習センター1条例の一部改正について】 可決
- 【平成28年度決算関係・9議案】 すべて可決
- 【一般会計歳入歳出決算認定について(※)】 すべて可決
- 【刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について(※)】 すべて可決
- 【刈谷野田北部土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について(※)】 すべて可決
- 【下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について(※)】 すべて可決
- 【後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について(※)】 すべて可決
- 【介護保険特別会計歳入歳出決算認定について(※)】 すべて可決
- 【水道事業会計未処分利益剰余金の処分について(※)】 すべて可決
- 【平成29年度補正予算関係・5議案】 すべて可決
- 【一般会計補正予算(第2号)】 すべて可決
- 【国民健康保険特別会計補正予算(第1号)】 すべて可決
- 【後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)】 すべて可決
- 【介護保険特別会計補正予算(第1号)】 すべて可決
- 【下水道事業会計補正予算(第1号)】 すべて可決
- 【議長発議 1件】 決定
- 【議員提出議案 4件】 すべて可決
- 【道路整備予算の確保及び道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書(※)】 すべて可決
- 【定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書】 すべて可決
- 【国の私学助成の拡充に関する意見書】 すべて可決
- 【愛知県の私学助成の拡充に関する意見書】 すべて可決
- 【公平委員会委員の選任について】 再び選任
- 【平成29年9月30日で任期満了となるので、再び選任することに同意しました。(任期は4年)】 再び選任
- 【杉浦 渉 氏 (2期目) 小垣江町】
- 【固定資産評価審査委員会委員の選任について】 再び選任
- 【平成29年9月30日で任期満了となるので、再び選任することに同意しました。(任期は3年)】 再び選任
- 【つかもと ゆうぞう (3期目) 今川町】
- 【塚本 裕三 氏 (1期目) 御幸町】
- 【石田 芳加 氏 (1期目) 御幸町】

公平委員会とは…地方公共団体職員利益の保護と公正な人事権の行使を保障するために置かれる機関です。  
固定資産評価審査委員会とは…固定資産課税台帳に登録された事項に関する不服申し立てについて、審査決定をする機関です。  
教育委員会とは…学校の設置及び管理に関することや、教員の人事についてなど、教育行政を処理するために置かれる機関です。